

C. 教育課程に関する研究

天野菊三郎 戸蒔 進 原田 秀雄
加藤 剛 高橋 恵亮 杉山 光男
倉田 有邦

大学入試共通一次試験および二次試験の中間報告のまとめ

杉 山 光 男

昭和54年度から大学入試が大きく変わろうとしている。すなわち国立大学がⅠ期校Ⅱ期校の区別がなくなり、国立大学共通第一次試験が実施され、それに伴って各大学学部が行う二次試験が、現在各大学で検討されている。ここに本日までの結果をまとめ今後の本校の教育課程を考える材料としたい。

共通一次試験は、公立大学・私立大学がどの程度合流するか未定である等若干の問題点を残してはいるが、試験の教科、科目は次の通りである。

国語：現代国語，古典Ⅰ甲を合わせて1科目

社会：倫理・社会，政治・経済，日本史，世界史，
地理A，地理Bから2科目選択

数学：数学一般，又は数学Ⅰの1科目

理科：基礎理科1科目，又は物理Ⅰ，化学Ⅰ，
生物Ⅰ，地学Ⅰから2科目選択

外国語：英語B，独語，仏語から1科目選択

この国立大学共通一次試験の実施機関となる大学入試センターが54年5月2日発足した。その業務は

- (1) 共通一次の試験問題作成，採点その他の業務
- (2) 入試方法の改善に関する調査研究
- (3) 国立大学以外の大学の入試に協力出来る。

の三つである。

この共通一次テストは回答欄がすべて選択肢のマーク・シート方式であり，コンピュータによる採点で，大量の解答用紙を処理する仕組みとなっている。また希望する大学学部を記載し本人には得点が判るようにし，志望大学学部への変更は可能のようだ。そして各大学へは応募者の一次試験の得点が伝達される。

これに伴い，国大協が全国82の国立大学へ，二次試験について集約すべく，六つの項目についてアンケートを出し52年3月末までに回収し，そのまとめを4月中に行い4月末に各大学へその結果を知らせ，7月中に全国国立大学各学部の入試の二次試験の教科・科目が本決まりになる予定である。

今回の国大協のアンケートは，次の六項目である。

- ① 第二次学力検査の教科・科目数
- ② 第二次学力検査以外の選抜方法

③ 代替科目

④ 共通第一次検査の成績の利用法

⑤ 学内での第二志望の取扱い

⑥ 予備選抜

各項目について，アンケートの回答がどのようなものであったかをまとめてみたい。

① 第二次学力検査の教科・科目数

二科目型の学部が全体（280学部）の約28%

三科目型が約24%（検討中を含む）

四科目以上が9.5%

一科目のみは約11%

学力テストなしは9学部

東大，北大，筑波大は全学で検討中で未回答であり，残る79大学（280学部）のうち約25%の69学部も検討中で回答が得られてない。

全体で最も多いのが二教科二科目72.9学部（一学部二学科で一学科だけの場合は0.5とした。）ただし数ⅡBと数Ⅲの場合は一科目とする。理学部13.2学部（理学部全体の約53%），工学部11学部（約24%）教員養成系12.1学部（約26%）。このほか，一教科2科目，三教科から二科目選択という二科目型が77.6学部（約28%）ある。

次いで三教科三科目が36.8学部，二教科3科目型が31学部で医歯系に多い。

一科目にするところは30.2学部で教員養成系に多い。

四科目は25.9学部で人文社系には殆んどなく，工学部，医学部に見られる。

五科目は理学部の一部のみである。

科目数をあげた学部学科を系統別にまとめた平均科目数は，人文社会系が平均2科目（科目数の分布幅は0～4），自然科学系が2.5科目（0～5），医歯系が2.8科目（0～4），家政系が1.3科目（0～2），その他（総合科学，保健，商船）が2.7科目（2～3）である。

次はその一覧表である。

大学入試共通一次試験および二次試験の中間報告のまとめ

〔二次試験の学部別平均科目数〕

(国大協調へ)

それらをまとめると、次の表のようになる。

〔二次試験の学部別平均科目数〕			学力試験以外の選考方法	
学部名	試験科目の分布の範囲	平均科目数	面 接	大学数 %
＜人文社会系＞				
教 養	2科目	2.0科目	全学実施予定	4 (49)
文 理	2科目	2.0 "	一部学部で実施予定	5 (6.1)
教 育	2科目～3科目	2.8 "	一部学科で "	9 (11.0)
教員養成	0～4科目	1.7 "	検 討 中	21 (25.6)
文 学	2科目～3科目	2.7 "	実施しない	43 (52.4)
外 国 語	1科目～2科目	1.5 "	実 技	
人 文	0～3科目	1.9 "	実施予定	23 (28.0)
法 文	1科目～2科目	1.2 "	実施するが方法は未定	5 (6.1)
法 学	0～3科目	2.5 "	実施方向で検討中	10 (12.2)
政 経	0～3科目	1.5 "	検 討 中	3 (3.7)
経 済	1科目～3科目	2.3 "	実施しない	41 (50.0)
経 営	3科目	3.0 "	小 論 文	
商 学	3科目	2.0 "	実施予定	21 (25.6)
平 均	0～4科目	2.0科目	実施方向で検討中	30 (36.6)
			実施しない	31 (37.8)
＜自然科学系＞			予 備 選 抜	
理 学	1科目～5科目	2.4科目	全学的に実施予定	11 (13.4)
工 学	0～4科目	2.7 "	一部学部で実施予定	27 (32.9)
理 工	1科目～2科目	1.5 "	全学実施予定で検討中	4 (4.9)
農 学	0～4科目	2.4 "	一部学部・学科で実施	} 7 (8.5)
水 産	1科目～3科目	2.0 "	予定で検討中	
畜産・獣医	2科目～3科目	2.5 "	予定していない	33 (40.3)
薬 学	2科目～4科目	3.2 "	成績の利用法	
平 均	0～5科目	2.5科目	共通一次対二次学力試験を10:8～5:5の比率をつける	} 29 (35.4)
			共通一次の成績を単純加算する	
＜そ の 他＞			共通一次の成績を重視する	} 14 (17.1)
医 学	0～4科目	2.8科目	共通一次と二次学力試験の成績を総合判定する	
歯 学	1科目～4科目	2.9 "	共通一次の判定を加味する	} 3 (3.6)
家 政	0～2科目	1.3 "	二次試験の成績を重視する	
総合科学	} 2科目～3科目	2.7 "	共通一次の判定を加味する	} 4 (4.9)
保 健				
商 船 (2)			検 討 中	14 (17.1)

〔注〕「0科目」は学力試験なしの意味。数ⅡB, 数Ⅲは併わせて1科目。

② 第二次学力検査以外の選択方法

82大学が回答、面接を全学的に行うが4大学

1部の学部・学科で行うが14大学

小論文は21大学(一部の学部・学科を含む)

また実施の方向で検討中が30大学

実技を予定しているのは38大学で殆んど従来も課している。

③ 代替科目

職業高校からの受験生などに二次テストで代替科目を認めるところが7大学。逆に認めないところが60大学。残りは検討中である。

- ④ 共通第一次検査の成績の利用法
一次テストを重視する大学は61大学，二次テストを重視するところは7大学，他は検討中。
- ⑤ 学内での第二志望の取り扱い
学部内または学部学科で取り扱う大学が53校（約65%）あるが，学部間で第二志望の取り扱いをする大学はなく，13大学が検討当である。
- ⑥ 予備選抜
82大学中11大学（30学部）は全学的に足切り，つまり共通一次選抜のみで落とすとし，更に27大学（55学部）は一部学部で足切り予定をして居り，足切りを実施する方向で検討中が全学が4校，一部学科・学部が7校と11大学にも及ぶ。つまり約60%の大学で足切りを行う予定。

問題点◎科目数が多いこと。高等学校校長会では1～2科目を要望している。

◎職業高校からの受験生に対して代替私目を認める所が少ないこと。

◎共通一次テストを足切りに使う予定の大学があるばかりでなく，相当多数の大学で行う予定であること。

国大協自身「足切り」は原則として行わないという方針にもかかわらず今回のアンケートの結果はそれに反する。従ってガイドラインとして（1）科目数を必要最小限にする（2）安易に予備選抜（足切り）をしないの二点を留意事項として，各大学へ再検討するようにとの通知が国大協からなされた。

二次試験の内容はまだ可成り流動的ではあるが，従来とは相当変わるものと思われる。

ともあれ本年7月に各大学の態度がはっきりするので，それを待って本校の教育課程も検討を余儀なくされよう。